



豊里

地域一丸となり交通事故根絶

豊里地区の「交通死亡事故抑止功労表彰」は4月16日、登米総合支所で開かれ、登米市交通安全対策協議会、登米警察署から豊里地区コミュニティ推進協議会(佐々木信義会長)へ褒状が授与されました。

豊里地区は、2010年9月15日から交通死亡事故ゼロを継続し、4月15日で3500日を達成。佐々木会長は「さらに地域一丸となって交通安全活動に取り組み、一日でも長く記録を伸ばしていきたい」と力強く決意を述べました。

変わらず咲き誇る春の風物詩

60種類10万株の色とりどりのチューリップが、毎年4月下旬から5月初旬頃まで、道の駅米山西隣の圃場に咲いています。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎年チューリップの開花に合わせて開催しているイベントや販売が中止。そんな中でも、変わらずきれいに咲き揃った色鮮やかなチューリップが、圃場近くを通り過ぎるドライバーたちの心を癒していました。



米山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

佐沼交通死亡事故ゼロ2500日

「佐沼地区コミュニティ交通死亡事故ゼロ2500日表彰式」は4月20日、迫公民館で開かれ、木村健喜迫総合支所長から佐沼地区コミュニティ推進協議会(佐藤四郎会長)へ表彰状が贈られました。

佐沼地区では、2013年6月から交通死亡事故ゼロを継続しており、4月17日で2500日を達成。佐藤会長は「佐沼地区で2500日を達成できたのは素晴らしい。今後も記録を伸ばしていきたい」と決意を新たにしました。



石越

開業130周年をみんなで祝う

「石越駅開業130周年記念イベント」(石越町郷土史研究会主催、佐藤文則代表)は4月16日、石越駅で開かれ、同研究会員など11人が参加しました。

佐藤代表は「130周年を機に石越町をより盛り上げていきたい」とあいさつ。イベントでは「描き鉄集団口コ」の鈴木典宏氏から寄贈された、昭和50年頃の駅舎の水彩画が披露されました。参加者は、開業当時に思いを馳せながら、駅舎への思い出話などを語り合いました。

交通安全を促す春の街頭指導

「春の交通安全キャンペーン」が4月6日、ツルハドラッグ宮城登米店前の交差点で実施されました。

交通安全キャンペーンは、交通事故の根絶が目的。当日は、交通安全協会の会員が黄色のジャケットを着用し、キャッチフレーズ「みんなで登米っぺ交通事故」の横断幕を掲げながら交通安全を訴えました。参加者は交通事故根絶を祈りながら、交差点を通り過ぎるドライバーや歩行者を見守りました。



登米

満開に咲いたロケ地の千本桜

3月に公開された映画「弥生、三月-君を愛した30年-」のロケ地になったみなみかた千本桜が今年もきれいに咲き誇り、多くの観光客の目を楽しませました。

「青春映画の舞台として、イメージどおり」と映画を制作した遊川和彦監督も太鼓判を押した南方町大袋地内の分かれ道。映画の冒頭とラストシーンで使われたロケ地には看板を設置しています。訪れた観光客は、看板と一緒に記念撮影をした後、満開の桜に見入っていました。



南方



東和

無事故願い今できる啓発活動

「春の交通安全運動街頭キャンペーン」が4月6日、新しく開通した国道346号錦織バイパス錦桜橋付近交差点で実施されました。

街頭キャンペーンは、全国で新型コロナウイルス感染症が発症している中、不安や焦りからくる疲労でドライバーの気の緩みを招かないよう実施。今できる範囲で交通安全を啓発しようと、地元の交通安全母の会、交通安全協会の会員がのぼり旗を掲げながら、交通安全の大切さを訴えました。



津山

コロナの収束願い大護摩祈禱

柳津虚空蔵尊の「大護摩祈禱」が4月13日、同敷地内本堂で行われました。

大護摩祈禱は、ご本尊の前に設けられた護摩壇に護摩木をたき、虚空蔵菩薩の功德をいただき、疫病退散や国家安穩を祈願するもの。静寂に包まれた本堂で、護摩木が燃える音だけが響く中、住職のお経で祈禱が始まり、世界各地で広がりを見せる新型コロナウイルス感染症の早期収束と罹患者の一日も早い回復を願いました。

春空を自由に泳ぐこいのぼり

今年で26回目となった浅水コミュニティ運営協会によるこいのぼりの掲揚が4月4日、浅水ふれあいセンターで実施されました。

掲揚しているこいのぼりは、市民皆さんから寄贈されたもの。大小さまざまな100旗のこいのぼりには、子どもの健やかな成長とたくましく育てほしいという願いが込められています。春の爽やかな風に乗れ、大空を泳ぐこいのぼりの姿は、見上げた人の目を楽しませていました。



中田